

船橋に備え置いてください！

愛媛県中部海域の地域的情報

1. 愛媛県中部海域の気象・海象の特性

(1) 松山港

- ・西から北より風の影響を受けやすい。
- ・特に台風の左半円に入る松山港の東側を通過する場合には、西から北よりの暴風が連吹するので注意が必要(油断は禁物)。
- ・台風通過後でも、吹き返しの風が強く吹く傾向にある。

(2) 長浜港

- ・西から北よりの風が強く吹き、港が狭いので港内での錨泊は適さない。
- ・台風通過後でも、吹き返しの風が強く吹く傾向にある。

2. 港則法適用港における港外避難等に関する勧告基準

(1) 松山港

① 第一警戒体制(荒天準備勧告)

- ・原則として、台風が松山地方に接近するおそれがあると判断される場合(6時間以内に強風域(風速15m/s以上)に入ると予想されるとき)。
…気象状況に留意し、荒天及び避難準備を行うとともに必要に応じて直ちに運航できる態勢を整えること。またVHF16CHの常時聴取を行うこと。

② 第二警戒体制(港外避難勧告)

- ・原則として、台風が松山地方に直撃する虞が極めて高い場合又は、松山周辺海域が重大な影響を被ると判断される場合(6時間以内に暴風域(風速25m/s以上)に入ると予想されるとき)。
…松山港の係留施設に係留中の総トン数1,000トン以上の船舶及び危険物積載船舶(松山港を基地とする給油船を除く)は、原則として離岸し安全な海域に避難すること。

(2) その他の適用港

- ・「北条港」、「長浜港」、「郡中港」、「三机港」、「三崎港」についても、「松山港」の勧告基準に準じて、勧告が発令される。

3. 注意を要する海域等

- ・興居島由良湾では旅客船など、多数の船舶が錨泊しているので注意が必要。
- ・大型船は港内での錨泊には向いておらず、伊予灘沖など開けた海域での漂泊を推奨する。

緊急連絡先

松山海上保安部 交通課	089-951-0553
来島海峡海上交通センター	0898-31-9000

 各海域(港)最寄りの海上保安庁の事務所や地方運輸局で配布している走錨事故防止ガイドラインとともに、船橋に備え置いてください。